

## きれいなひびきで演奏しよう

( 6 時間扱い )

### 1. 題材のねらい

音の特徴や音色の違いを感じ取って、奏法や表現を工夫できるようにする。

旋律の特徴や音色の違いを感じ取って、聴いたり表現を工夫したりすることができる。

### 2. 教材について

小学校学習指導要領 第3・4学年の内容との関連

#### ( 1 ) 冬の歌 中山 知子作詞 / フリスト ネジャルコフ 作曲

小学校学習指導要領 第3・4学年の内容との関連

A(1)ア

A(2)イ

A(3)イ

A(4)ア

B(1)ウ

一面の雪野原を馬に引かれたそりが走っていく様子を、楽しく描写した軽快な曲。前・中・後半のリズムや音程、曲想の違いが子どもたちにもとらえやすく、リズム伴奏や簡単な旋律伴奏を工夫するのに適している。主旋律とリコーダーの副次的な旋律を加え、合唱奏を楽しませるようにしたい。

#### ( 2 ) オーラリー 阪田 寛夫 作詞 / プールトン 作曲

A(2)イ

A(3)イ

「Love Me Tender」の歌詞をつけて、エルビス・プレスリーが歌い、世界中に知られることになった楽曲の原曲。この題材では、美しい穏やかな旋律と中間部の曲の山を感じ取りながら、リコーダーのサミングの奏法を身に付け、美しい音色で演奏できるようにしたい。

また、音の重なりを味わいながら、二重奏、曲想に合った楽器を入れてのアンサンブルの活動などでより楽しい表現活動ができるようにしたい。

3.題材の評価規準

Aと判断する子どもの姿

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な 感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の 評価 規準	<p>声や楽器の音色，音の響きに関心をもち，音や声の重なりを楽しみながら進んで歌ったり演奏しようとしたりしている。</p>	<p>歌詞や旋律など，楽曲の特徴を生かした歌い方や，歌声や楽器の音が重なる美しさに気付いて，演奏の仕方を工夫したり，曲想を生かした伴奏をつくったりしている。</p>	<p>美しい音色を目指して発音や呼吸に気を付けながら，リズム伴奏や旋律づくり楽器や歌で表現を楽しんでいる。</p>	<p>曲想や楽器と声の組合せによる響きの美しさを感じ取りながら友達の表現を聴く。</p>
学習活動における 具体の 評価 規準	<p>斉唱や簡単な二部合唱による歌唱表現に関心をもち，進んで歌おうとしている。</p> <p>繰り返し熱心に練習 練習方法を自分なりに試行</p> <p>音色の響きやリズムの組み合わせを工夫しながら進んで簡単なリズム伴奏をつくらうとしている。</p> <p>積極的な楽器選び 数々のリズム伴奏を作って 簡単な合奏や小アンサンブルの活動に関心をもち，進んで器楽表現に取り組んでいる。</p> <p>グループ活動のリーダーとして 友達に進んでアドバイス 曲想を意識して</p>	<p>歌詞や旋律の特徴を感じ取って，歌い方や身体表現の仕方を工夫している。</p> <p>楽曲を深く感じ取り，自分なりの表現 特徴を生かした表現を数多く試行 声为重なり合う響きを感じ取って，歌い方を工夫している。</p> <p>常に音の重なりを意識した表現 場面に合わせて，主となるパートを意識した演奏 旋律にふさわしい音色，各パートの音の重なりなどを感じ取り，演奏の仕方を工夫している。</p> <p>グループ活動での確かなアドバイス 旋律に合った表現を提案 リズムや音の組合せを生かした表現の仕方を工夫している。</p> <p>よりよい表現を追求 組み合わせを多様に試行</p>	<p>歌と器楽を合わせ，互いに聴き合いながら自分のパートを演奏している。</p> <p>友達のパートに常に気を付けながら演奏 音量を他のパートに合わせて調節 終止感のある簡単な旋律伴奏をつくって，楽器で演奏したり歌と合わせたりすることができる。</p> <p>リズム・旋律伴奏をいくつも作成 演奏しながら伴奏を直してよりよい演奏を提案 八長調の読譜に親しみ，楽譜上で音を確かめながら視奏している。</p> <p>スムーズな読譜 新たに学習する高いミ，ファ，ソの音を確実に演奏 リコーダーのサミング奏法に気を付け，美しい音色を求めて演奏している。</p> <p>乱れない音色 きれいなタンギング 安定したサミング奏法 常に音色に注意</p>	<p>歌と楽器が重なり合う響きの美しさや広がりを感じ取って友達の演奏を聴いている。</p> <p>複数の要素を発見 自分の言葉で表現</p>

4. 指導と評価の計画

: 取り扱い項目

: 取り扱い重点項目

	学習活動	題材の 評価規準	指導要領 との 関連	内容の まとめり				評価方法
				歌 唱	器 楽	創 作	鑑 賞	
1	<p>「冬の歌」の曲の感じをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞を読んだり挿絵を参考にしたりしながら，CDの演奏を聴いて曲想や音の重なりを感じ取って歌う。</li> <li>・副次的な旋律の読譜，階名唱をしてから，リコーダーで演奏する。 音を重ねて表現する楽しさを味わう。</li> <li>・長三度の音の重なりを感じ取りながら，後半の二部合唱の部分を歌う。</li> <li>・声の重なりによる響きの美しさを味わいながら，楽しく演奏する。</li> </ul>	ア -	A(1)ア					行動観察 歌唱聴取 演奏聴取 発表
2	<p>リズム伴奏をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2～3種類の曲想に合う楽器を選び，リズム伴奏をつくる。</li> <li>・旋律の変化に合わせて，リズムパターンを変化するように工夫する。</li> <li>・みんなで作った音楽を聴き，よさを見付け合う。</li> </ul>	ア -	A(4)ア					学習カード 演奏聴取 発表
3	<p>旋律伴奏をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループに分かれて，示された旋律に続けて旋律伴奏をつくる。</li> <li>・曲想に合う楽器を選び，音の重なりを付けて，小アンサンブルを楽しむ。</li> </ul>	ウ -	A(4)ア					学習カード 演奏聴取 歌唱聴取
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前半と後半の伴奏の仕方を工夫する。</li> <li>・つくった伴奏を合わせて楽しむ。</li> <li>・歌とリコーダーにつくった伴奏を合わせる。</li> <li>・グループアンサンブルの発表を聴き合い，よさを見付け合う。</li> </ul>	ア -	A(3)イ					
		ウ -	A(3)イ					
		イ -	A(2)イ					
		エ -	B(1)ウ					

5	<p>リコーダーのサミング奏法に気を付けて、「オーラリー」を演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の流れや演奏の仕方に気を付けて範奏を聴く。</li> <li>・高音のサミング奏法を知る。</li> <li>・主旋律の読譜をする。</li> <li>・3段目を取り出し、高音域と中音域の息の強さを工夫し、主旋律が滑らかに演奏できるよう、反復練習する。</li> <li>・息つぎの仕方、息の強さ、運指に気を付けて、主旋律を演奏する。</li> </ul>	<p>ア -</p> <p>ウ -</p> <p>ウ -</p>	<p>A(2)イ</p> <p>A(1)イ</p> <p>A(3)イ</p>				<p>読譜チェック</p> <p>演奏聴取発表</p>
6	<p>音色に気を付けて、曲想に合う演奏の仕方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サミング奏法に気を付けて、主旋律をレガートで演奏する。</li> <li>・1・2段目と3段目以降の曲想の変化を感じ取り、演奏の仕方を工夫する。</li> <li>・副次的な旋律の読譜、階名奏をしてから全体を二つに分け、二重奏する。</li> <li>・曲の山や曲全体の感じをとらえた演奏になるよう、グループごとで話し合う。</li> <li>・響きの美しい重奏や合奏になるよう、全体をまとめる。</li> </ul>	<p>ウ -</p> <p>イ -</p> <p>イ -</p>	<p>A(3)イ</p> <p>A(2)イ</p> <p>A(2)イ</p>				<p>演奏聴取発言</p> <p>(グループ練習)</p> <p>行動観察</p> <p>感想カード</p>